

事務事業名	コミュニティスクール促進事業	事業期間	~	年度	係内番号	05
担当部署	こども部	学校教育課	学務係	連絡先	605	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0202	子どもたちの豊かな心を育む		
			基本計画②	01	こども・家庭応援計画	0801	魅力あるコミュニティスクールの実施		
			実行計画	01	こども・家庭応援計画	0801	魅力あるコミュニティスクールの実施		

予算事業名	コミュニティスクール促進事業費	会計コード	01	款	10	項	01	目	02	事業	09
-------	-----------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 小中一貫教育の促進と地域とともにある学校づくりのために、学校、保護者、地域住民が継続的に、ゆるやかに連携し、子どもたちと地域の方々が地域に根ざした育ちをしていくための応援していく「茅野市型コミュニティスクール」を促進していく。また、「茅野市型コミュニティスクール」の学校運営委員会を開催し、それぞれが行っている活動を共有し、学校運営に参画していく。

現状と背景
 (どうして)
 地域に開かれた学校、地域の風土や特色を活かした教育を推進するためには、年代を超えた地域住民との交流やともに支え合う学校運営が必要である。

目的

受益者 (誰のために)	市内小中学校の児童生徒・教職員・地域住民
対象 (直接働きかける)	市内小学校の児童生徒・教職員・地域住民
意図 (どんな状態にしたいか)	小中一貫教育の準備を進め、地域とともにある学校づくりを目指す。

手段・方法
 (どうやって)
 小中一貫教育に向けて、PTA組織や同窓会組織のあり方、地域住民の支援体制等の検討のため、学校運営委員会を設置して、共通理解を図り、地域と一緒に学校づくりをしていく。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	学校運営委員会の開催	学校運営委員会の開催数	回	
		2				
		3				
	変更履歴					
成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	学校支援ボランティアの人数	学校支援ボランティアの人数	人	10人×13校
		2				
	変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	財源内訳	事業費等(a)	円	314,000	186,028	307,000	
国庫支出金		円					
県支出金		円					
地方債		円					
その他特定財源		円					
	一般財源	円	314,000	186,028	307,000		
活動指標	学校運営委員会の開催数	目標	18	18	13		
		実績	13	13			
	達成率	%	72.22	72.22	-	-	-
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
成果指標	学校支援ボランティアの人数	目標	260	260	260		
		実績	130	150			
	達成率	%	50.00	57.69	-	-	-
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-	-	
備考							

事務事業名	コミュニティスクール促進事業		事業期間	~	年度	係内番号	05
担当部署	こども部	学校教育課	学務係			連絡先	605

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果） （変果） （動指） （要標） （因分） （析）		全小中学校に茅野市型コミュニティスクールを立ち上げることができ、学校運営委員会も開催できるようになった。	茅野市型コミュニティスクールとして全校で取り組みを進めることができた。		
価値（CHECK）	成果	国県からの補助金や加配教員の配置が見込まれないため、市内の各中学校に茅野市型コミュニティスクールを構築し、事業に取り組んでいる。	各校の特色を活かし、学校と地域住民が協力・連携し学校活動の支援や課題解決のための支援に取り組んでいる。			
	総合評価 課題	今後、市内小中学校に置かれている「学校評議員」との関係をもとにしていくかが課題である。	市内小中学校に置かれている「学校評議員」との関係をもとにしていくかが課題である。			
改革	成果	拡充	拡充			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性（ACIT）	改善の方向性の内容 策び容	国のコミュニティ・スクールでは委員が非常勤特別職の身分を持ち、報酬が出るが、茅野市型コミュニティスクールの学校運営委員会の委員は、無報酬で活動していただいている。また、各小中学校で地域の特色を活かした活動をしていくためには、どうしても活動費が必要となってくる。地域と共にある学校づくりを目指すために、全小中学校に活動費を配分できるようにしたい。	地域と共にある学校づくりを目指すために、引き続き全小中学校に活動費を配分し活動を支援していく。（学校運営委員会の委員は無報酬）また、安全に活動いただくためにボランティア保険分も支援する。			
作成担当者	阿部 香織	北澤 ゆき子				
最終評価責任者	五味 正	五味 正				
最終評価年月日	2019年5月21日	2020年7月3日				

事務事業名	どんぐりネットワーク茅野活動支援事業	事業期間	2003 ~	年度	係内番号	08
担当部署	こども部	こども課	こども係	連絡先	612	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	教育大綱	0103	地域が支える子育て環境の充実		
			基本計画②	01	こども・家庭応援計画	0802	子育てに関わる人の仕組みづくり		
			実行計画	01	こども・家庭応援計画	0802	子育てに関わる人の仕組みづくり		

予算事業名	どんぐりネットワーク茅野活動支援事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	03	事業	09
-------	---------------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
市内の子育て・子育てに関わる活動団体等を結んだ「茅野市こども・家庭応援計画推進ネットワーク委員会(通称:どんぐりネットワーク茅野)」と行政は、パートナーシップのまちづくりの手法により、子どもが生まれる前から18歳になるまでを一貫して応援する「こども家庭応援計画(愛称:どんぐりプラン)」を推進している。行政とともにこの計画の推進を行っている「どんぐりネットワーク茅野」の活動を支援する。

現状と背景
(どうして)
現代は、子どもや家庭の問題が深刻化する中で子育てが困難な時代だと言われている。子どもの健やかな成長を願い、保護者だけでなく、地域社会、行政も協力し、その中で子どもも親も地域のみなさんも育っていく環境づくり、仕組みづくりが必要である。

目的	受益者 (誰のために)	市内の子どもとその家庭
	対象 (直接働きかける)	どんぐりネットワーク茅野
	意図 (どんな状態にしたいか)	一人ひとりの子どもが「たくましく・やさしく・夢のある」子どもに育ち、家庭では安心して子育てができるようになる。

手段・方法
(どうやって)
どんぐりネットワーク茅野との連携、活動費支援

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	幹事会の開催	幹事会開催回数	回	どんぐりプランの推進と評価
	2	子育て・子育て情報による応援	情報紙の発行	回	講座等の情報を月1回のペースで発行	12
	3					
	変更履歴					
成果指標	成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	子育て環境の向上を推進する	子育て・教育分野の満足度向上	満足度	市民アンケートの子育て・教育分野の満足度平均点を前年度より向上させる
	2					
	変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	財源内訳	事業費等(a)	円	950,000	564,000	449,000	
国庫支出金		円					
県支出金		円					
地方債		円					
その他特定財源		円					
	一般財源	円	950,000	564,000	449,000		
活動指標	幹事会開催回数	目標	回	4	4	4	
		実績	回	3	4		
		達成率	%	75.00	100.00	-	-
	情報紙の発行	目標	回	12	12	12	
		実績	回	13	13		
		達成率	%	108.33	108.33	-	-
-	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	子育て・教育分野の満足度向上	目標	満足度	4	4	4	
		実績	満足度	4	3		
		達成率	%	88.75	81.00	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
備考							

事務事業名	どんぐりネットワーク茅野活動支援事業		事業期間	2003	～	年度	係内番号	08
担当部署	こども部	こども課	こども係			連絡先	612	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		情報紙による子育て・子育てに関する情報提供は、子育て家庭への大きな支援となっている。また、幹事会を開催しパートナーシップによる子育て・教育分野の施策への意見提言、子育て応援の実施により、H29年度の満足度3.54%からH30年度の満足度3.55%となった。	子育て・子育てに関する情報提供は、子育て家庭への大きな支援となっているが、どんぐりネットワーク茅野が行っている情報発信は費用対効果を検証する必要がある。		
価値（総合評価）	成果	昨年度比で若干ではあるが、満足度が向上した。また、市が実施している33項目の取組の満足度順位が、昨年度3位から2位へと向上した。(1位:資源循環型社会の実現 3.74%)	満足度が昨年度3.55%から今年度3.24となった。			
	課題	第3次どんぐりプランの推進のため、意見提言だけでなく、ネットワークの活動(様々な子育て団体のつなぎ役)をさらに充実させるため取組が必要である。また、現役の子育て世代の意見の集約が必要。	子どもとその家庭を応援、支援するために、子どもと現役の子育て世代が何を求めているかを把握し、どんぐりネットワークの活動を検討していく必要がある。			
改革	成果	拡充	拡充			
	コスト	現状維持	縮小			
改善の方向性	改善の方向性の内容	今後も、「どんぐりネットワーク茅野」と行政が協働して、どんぐりプランを推進していく必要があるが、時代の変化に対応したネットワーク活動となるように取組の振り返り及び改善が必要。そのために、より現役の子育て世代、様々な子育て団体をつなぐためのネットワーク活動を充実させる必要がある。	今後も、「どんぐりネットワーク茅野」と行政が協働して、どんぐりプランを推進していく必要がある。「地域の子どもは地域で育てる」理念を実現できるように、時代の変化に対応したネットワーク活動となるように取組の振り返り及び改善が必要。			
策	策					
作成担当者	小林拓斗	小林拓斗				
最終評価責任者	五味健志	五味 留美子				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				